

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年3月26日時点)

➤ **ウクライナ軍の東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)における攻勢が停滞する一方、露軍は、各正面で攻勢を強めるとともに、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者35.5万人以上 (英国防省24年3月3日)

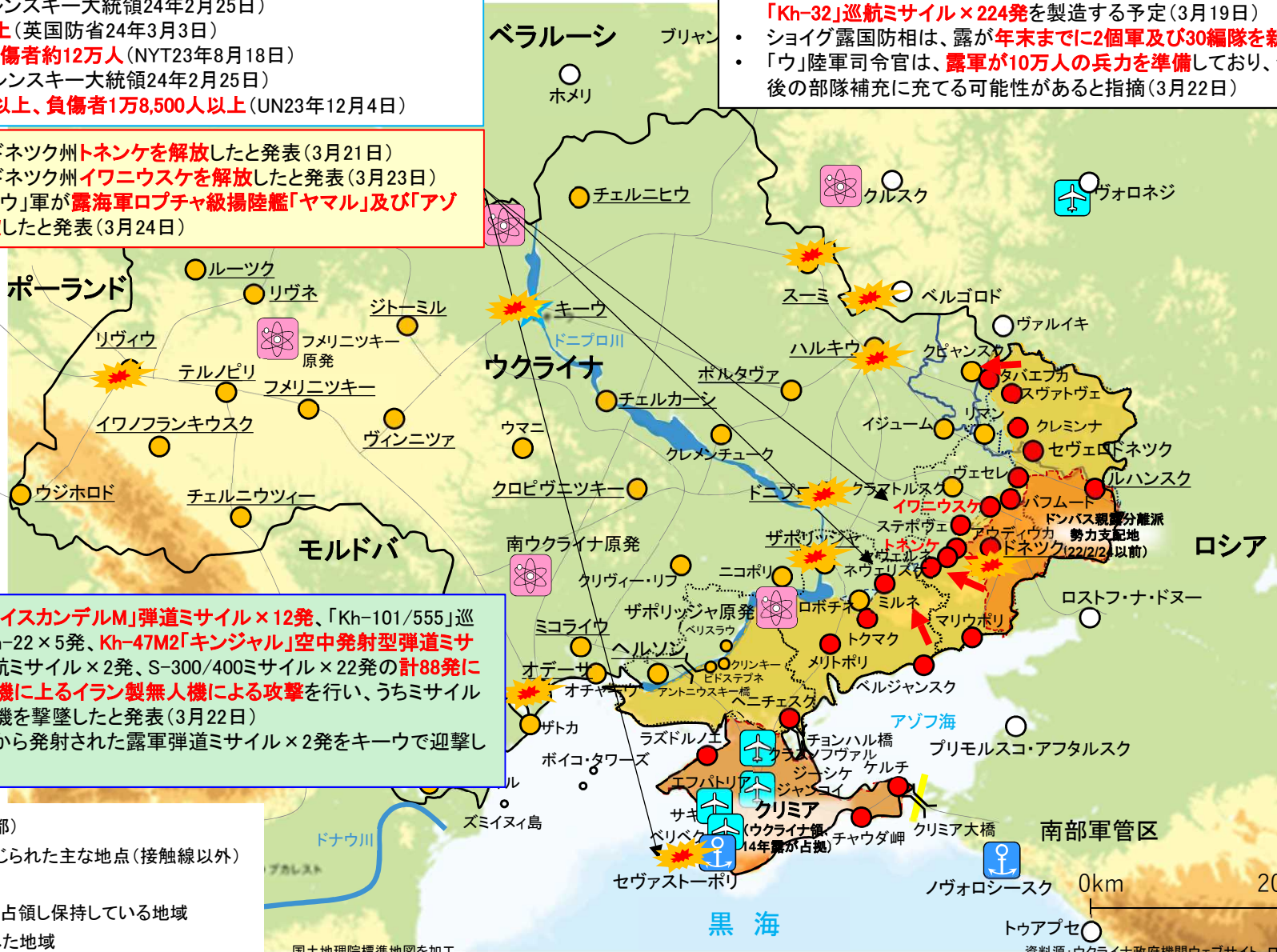
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、露軍がドネツク州トネンケを解放したと発表 (3月21日)
- 露国防省は、露軍がドネツク州イウノウスケを解放したと発表 (3月23日)
- 「ウ」軍参謀本部は、「ウ」軍が露海軍ロブチャ級揚陸艦「ヤマル」及び「アソフ」をクリミア沖で撃破したと発表 (3月24日)

- 親「ウ」パルチザン組織「アテシュ」は、露のミサイル製造企業「ドゥブナ機械製造工場」の機密文書を取得したとして公表。同文書によれば、同企業では2024年中に「Kh-32」巡航ミサイル×224発を製造する予定 (3月19日)
- ショイグ露国防相は、露が年末までに2個軍及び30編隊を新編すると表明 (3月20日)
- 「ウ」陸軍司令官は、露軍が10万人の兵力を準備しており、今夏の新たな攻勢か、今後の部隊補充に充てる可能性があるとして指摘 (3月22日)



- 「ウ」空軍は、露軍が「イスカンデルM」弾道ミサイル×12発、「Kh-101/555」巡航ミサイル×40発、Kh-22×5発、Kh-47M2「キンジャル」空中発射型弾道ミサイル×7発、Kh-59巡航ミサイル×2発、S-300/400ミサイル×22発の計88発に上るミサイルと、計63機に上るイラン製無人機による攻撃を行い、うちミサイル×37発と無人機×55機を撃墜したと発表 (3月22日)
- 「ウ」空軍は、クリミアから発射された露軍弾道ミサイル×2発をキーウで迎撃したと発表 (3月25日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☁ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等